

研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

IgA 腎症における組織学的活動性を反映する非侵襲的バイオマーカーとしての全身性免疫炎症指標の臨床的意義の探索

1. 研究の対象および研究対象期間

2014 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日に昭和医科大学江東豊洲病院において原発性 IgA 腎症と診断された患者さん

2. 研究目的・方法

【研究の目的】 IgA 腎症は、腎臓に慢性的な炎症が起こる病気です。この病気を正しく治療するためには、腎臓の中で今どれくらい活発に炎症が起きているかを正確に知ることがとても重要です。

通常は腎生検という数日間の入院を伴う検査で腎臓の組織を直接調べますが、患者さんのお体への負担が大きいため、何度も繰り返し行うことは困難です。そこで私たちは、通常の血液検査の項目（白血球や血小板など）から計算できる、全身の炎症の勢いを示す新しい数値に注目しました。

本研究の目的は、この数値が実際の腎臓の中で起きている炎症の強さを正確に表しているかを調べることです。もしこれが証明されれば、将来的には腎生検の回数を減らし、通常の血液検査だけで今すぐ治療を強化すべきかの判断の助けになる可能性があります。

【研究の方法】 昭和医科大学江東豊洲病院において、過去に腎生検の検査を受け IgA 腎症と診断された患者さんの診療記録のデータを集めて解析を行います。

この研究は過去の診療記録を見直してデータを確認する研究であり、患者さんに追加の採血検査や余分な通院をお願いしたりするなどの負担は一切ありません。

3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2028 年 3 月 31 日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・ 患者背景情報：年齢、性別
- ・ 腎生検前：採血結果（顆粒球数、リンパ球数、血小板数、血清クレアチニン、eGFR、IgA、C3）
尿検査結果（尿潜血定性、尿中赤血球量、尿蛋白定性、尿たんぱく量(g/gCr)）
- ・ 腎生検結果：組織学的重症度（日本式の H-grade 評価、国際基準である Oxford 分類による MEST-C 評価）

5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません

6. 研究組織

研究責任者 研究機関名 昭和医科大学江東豊洲病院内科 氏名 宮崎友晃

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学江東豊洲病院内科

氏名：宮崎友晃

住所：東京都江東区豊洲 5-1-38

電話番号：03-6204-6883